

专业技术干部

日语考试指南

总参谋部政治部干部部编

军事谊文出版社

专业技术干部

日语考试指南

总参谋部政治部干部部编

军事谊文出版社

(京)新登字: 121 号

书 名: 日语考试指南

编 者: 总参谋部政治部干部部

出版发行者: 军事谊文出版社(北京安定门外黄寺大街乙一号)

(邮编 100011)

印刷者: 中国科学技术大学印刷厂

开 本: 850×1168 毫米 1/32

版 次: 1995 年 5 月第 1 版

印 次: 1995 年 5 月第 1 次印刷

印 张: 17.5

字 数: 471 千字

印 数: 2000 册

书 号: ISBN 7-80027-744-5/G · 147

定 价: 12.80 元

前 言

为帮助专业技术干部熟练掌握日语基本语言技能,提高日语语言的的实际应用能力和应试能力,总参政治部干部部编写了专业技术干部《日语考试指南》。本书旨在给有志于提高日语水平的专业技术干部提供一个权威性的强化训练工具,为参加日语考试的专业技术干部提供适当的复习范围。语言学习是一个循序渐进的过程,只有在掌握扎实的语言基础知识和基本语言技能的前提下加强应试能力的训练,才有可能在考试中取得好成绩,在实用中得到满意的效果。本书注重了语言基础知识和基本语言技能的学习,在结构上力求突出语言学习由浅入深、循序渐进的特点,在内容上力求题材广泛,做到科学性与实用性相结合。今后总参谋部晋升专业技术职务日语水平测试,命题参考本指南。

全书分语法结构与词汇、阅读理解和翻译三个部分。语法结构与词汇部分,目的是为读者提供比较系统、全面的语法知识。本部分内容根据考试大纲所附语法项目表进行安排。在每一语法大项的系统说明之后,附有大量练习,便于读者理论联系实际。阅读理解分两部分,第一部分为中级水平,由 75 篇短文组成;第二部分为高级水平,由 65 篇短文组成。每部分的前 20 篇文章配有多项选择题及参考答案,供读者自测;其余的只有阅读文章,供读者自学和教师辅导。翻译部分,分工程技术、社会科学和医学三大类,中级、高级两个档次编配文章。书后附考试大纲、考试样题和参考答案。

本书第一部分由姚灯镇编写,第二部分由张云多编写,第三部分由王玉林编写。本书参阅了国内外多种资料、教材和专著,在此表示感谢。错误和不足之处,欢迎批评指正。

目 录

第一部分 语法结构与词汇	1
第一节 体言	2
第二节 动词	14
第三节 形容词和形容动词	31
第四节 接续词	41
第五节 助词	48
第六节 助动词	104
附 基本句型表	127
第二部分 阅读理解	137
第一节 中级阅读与理解	143
一 练习文章	143
二 阅读文章	178
三 练习参考答案	243
第二节 高级阅读与理解	245
一 练习文章	245
二 阅读文章	287
三 练习参考答案	353
第三部分 翻译	354
第一节 工程技术类	356
一 中级	356
二 高级	372
三 参考译文	389
第二节 医药卫生类	411
一 中级	411

二 高级	426
三 参考译文	443
第三节 社会科学类	463
一 中级	463
二 高级	481
三 参考译文	497
附件(1) 考试大纲	520
附件(2) 考试样题	523

第一部分 语法结构与词汇

语法结构与词汇部分主要测试应考者运用语法结构、词汇和短语的能力。本部分试题共占 30 分,考试时间为 20 分钟。试题中 30% 为基本词汇,70% 为基础语法。试题一般采取选择填空的形式,即针对每道题给出 4 个不同的答案,要求应考者从这 4 个选择项中选出一个最佳答案。

日语语法项目繁多,内容也比较复杂。在本部分里,我们选编了最基本、最重要的日语语法项目,分为六节加以归纳、讲解,希望应试者很好地掌握。其中以下一些内容更为重要,如第一节中的形式名词;第二节中的动词的活用、五段动词的音便、自动词和他动词、授受动词、动词的时、体、态等;第三节中的形容词和形容词的活用及用法;第四节中的接续词的用法;第五节中的格助词、接续助词、提示助词、副助词、并列助词等的接续法及用法;第六节中的助动词的接续法、活用及用法等。上述内容应该作为重点加以学习、掌握。

在具体答题过程中,根据日语语法的特点,一般应注意以下几个方面的问题:(1)词语的固定搭配;(2)用言的活用及用法;(3)动词的时、体、态等;(4)助词的接续法及用法;(5)助动词的接续法、活用及用法;(6)前后呼应关系。等等。例如:

1. 日曜日()人出が多い。

A だので B のづべ C ながら D なので

根据助词のでの接续法,D 是正确的,其他都是错误的。

2. 壁に地図がかけて()

A いる B ある C おる D おく

因为かける是他动词,前面既然用了格助词が,所以就只能选择 B,即表示存续体。

总之,要在考试中取得好成绩,重要的是扎扎实实地掌握好本部分的内容。

第一节 体言

体言是名词、代词、数词的统称,是表示事物的实体概念的词。体言的语法特点主要有:

1. 没有词形变化。
2. 可以单独构成文节。
3. 可以后加助词作主语、连体修饰语和连用修饰语。
4. 可以受连体修饰语修饰。
5. 可以后加断定助动词作谓语。
6. 可以作呼唤语、提示语等独立成分。

一、时间名词的特殊用法

名词是体言的一种,表示人或事物。名词具有体言的语法特点,可以接助词、助动词构成各种句子成分。但有些表示时间的名词,在表示动作、作用进行的时间时,可以不加助词单独作连用修饰语。这种用法是时间名词的特殊用法,即副词性用法。例如:

○父は今日出発します。

○私はおとし日本にきました。

○昔昔、ある所におじいさんとおばあさんがおりました。

二、数词的特殊用法

数词的用法与名词大致相同,即可以后加助词、助动词构成各种句子成分。在表示动作、作用进行的程度时,可以不加助词单独作连用修饰语。这种用法是数词的特殊用法,即副词性用法。例如:

○タベ2時間勉強しました。

○リングを3つ買いました。

○私たちの学校には食堂が2つあります。

三、代名词的用法

代名词分为人称代名词和指示代名词。指示代名词又分为事物、场所、方位三种。

(一)人称代名词

日语中人称代名词较多,现将常用的人称代名词列表如下:

第一人称 (自称)	第二人称 (对称)	第三人称(他称)			不定称
		近 称	中 称	远 称	
わたくし	あなた	このかた	そのかた	あのかた	どのかた
わたし	あなた	このひと	そのひと	あのひと	どなた
ぼく	きみ			かれ	どなた
おれ	おまえ			かのじょ	だれ
		こいつ	そいつ	あいつ	どいつ

(二)指示代名词

指示代名词没有自称和对称,只有他称和不定称的区别。他称又分为近称、中称和远称。列表如下:

	近 称	中 称	远 称	不 定 称
事物	これ	それ	あれ	どれ、なに
場所	ここ	そこ	あそこ	どこ
方向	こっち こちら	そっち そちら	あっち あちら	どっち どちら

(三)コソアド系词

由于大部分代名词的近称、中称、远称和不定称的第一个假名

都分别是コソアド, 连体词和副词中也有这种情况, 因此把这些词归纳起来统称为コソアド系词。现将コソアド系词列表如下:

			コ	ソ	ア	ド
代 名 詞	人稱代名詞		このかた このひと こいつ	そのかた そのひと そいつ	あのかた あのひと あいつ	どのかた どのひと どいつ
	指示代名詞	事物	これ	それ	あれ	どれ
		場所	ここ こちら	そこ そこら	あそこ あそこら	どこ どこら
		方向	こっち こちら	そっち そちら	あっち あちら	どっち どちら
連体詞			この こんな	その そんな	あの あんな	どの どんな
副 詞			こう こんなに	そう そんなに	ああ あんなに	どう どんなに

(四) 代名词的转用

从词汇意义上讲, 各类代名词所指代的对象和内容是有具体分工的, 这种分工是代名词的基本用法。然而在实际语言中, 代名词的分工常常被打破, 出现各种转用现象, 需要引起注意。

代名词的转用主要有以下几种情况。

1. 事物代名词用作人称代名词

○これは私の息子です。

○あれは田中君の奥さんじゃないかな。

2. 方位代名词用作人称代名词:

○こっちは毎日あなたの来るのを待っていたんですよ。

○失礼ですが、どちらさまでですか。

3. 事物代名词指代时间

○山田さんとは先月デパートで会ったが、あれからずっと会わない。

4. 方位代名词用作事物代名词

○そちらより、こちらのほうがお買い得ですよ。

5. 方位代名词用作场所代名词

○こちらが事務室です。

6. 场所代名词指代时间

○そこへちょうどタクシーが来た。

四、形式名词的用法

在句中起到和体言基本相同的语法作用,但没有或失去了原有的实质意义的词叫做形式名词。形式名词有以下特点:

1. 不能单独使用,只能接在具有实质意义的连体修饰语后面。

2. 可以使前面的用言具有体言的性质或资格。

3. 可以表示某种附加意义。

形式名词虽然不具备实质意义,但却具有很重要的语法作用。因此,必须予以高度重视。

常用的形式名词有こと、もの、ところ、の、わけ、はず、つもり、ため、うえ、うち、かわり、かぎり、とおり、まま、ほう、もと、いづ、ぼう等。

1. こと

形式名词こと主要有以下用法:

(1) 接在用言连体形后面,使该用言具有体言的性质。

○健康を害することが一番恐ろしい。

(2) 接在体言+の的后面,表示“有关……的事情”。

○仕事のことなどどうぞご心配なく。

(3) 接在形容词、形容动词连体形后面,表示加强语气。“……的是”

○悲しいことにはもうお金がぜんぜんありません。

(4)表示主张、愿望或间接的命令。

○疲れたときは早く休むことだ。

○池の金魚を捕らないこと。

2. もの

多用もののだ的形式,主要有以下用法;

(1)表示常理、真理。

○虹は太陽の反対側に出るものだ。

○良薬は口に苦いものだ。

(2)表示按道理应该如何。

○そんなときは遠慮するものだ。

○先生にそんな言葉を使うものではありません。

(3)表示对往事的回忆。

○若い頃はよくテニスをやったものだ。

(4)表示愿望或感叹。

○早く暇をもらって帰りたいものだ。

○月日の立つのは本当に早いものだ。

3. ところ

(1)表示限定范围、内容。

○彼の言うところも正しい。

○聞くところによると、今度新しい辞典が出るそうだ。

(2)表示某一时、場合。

○出かけようとしているところへ電話が掛かった。

○これから出かけるところだ。

4. の

(1)使用言具有体言的资格。

○船が出ていくのを見ていた。

○日本語を話すのは難しいです。

(2)表示强调、说明、解释的语气。

○その日は雨が降っていたのだ。

○だからぼくがこういったのだ。

5.わけ

表示理所当然、明确说明或肯定等语气。

○昨日習ったばかりですから、よく出来るわけです。

○すると、学校にはこういう規則があるというわけだね。

6.はず

(1)表示根据一定的情况,对事物进行推想、判断。“应该……”

○彼は出張中だから、今日は来ないはずだ。

○火星の大気はもっと希薄なはずだ。

(2)表示客观上预定的事物。

○友達は1時に来るはずなのに、まだ来ない。

7.つもり

(1)表示意图、打算。

○今度の夏休みは北海道へ旅行するつもりです。

○私は行くつもりはない。

(2)表示主观的看法。“自以为……”

○たしかにここに置いたつもりなんですが、ないんですよ。

8.ため

(1)表示目的。“为了……”

- 言葉の意味を知るために字引を引く。
- 入学試験のために夜遅くまで勉強している。
- (2)表示原因、理由。“由于……”
- 風が強かったために、船が出ませんでした。
- 自動車が衝突したのは、不注意のためです。

9. うえ

- (1)表示累加、递进关系。“不但……而且……”
- 値段が安いうえに、品質も優れている。
- 彼は金持ちのうえに家柄もいい。
- (2)表示顺序。“在……之后”
- 詳しいことはお目にかかったうえで、またご相談いたします。

10. うち

表示范围。“在……之内(中)”

- 二、三日のうちにおたずねします。
- 暗くならないうちに帰りましょう。

11. かわり

(1)表示代替、补偿。

- 父のかわりに行く。
- 手伝ってあげるかわりに雑誌を買ってください。

(2)表示逆接关系。“虽然……可是……”

- 高いかわりに品物がいい。
- あまり頑丈でもないかわりに大病もしたことがない。

12. かぎり

(1)表示限度、范围的全部。

○見渡すかぎり青い草原でした。

○私の知っているかぎりでは、そんなことはありません。

(2)表示顺接条件。“只要……就……”

○戦争が続くかぎり平和は期待できない。

○病気でないかぎり学校へは行くべきだ。

13. とおり

○表示相同的状态。“如同”、“按照”

○結果はご覧のとおりです。

○先生の言われたとおりにする。

14. まま

(1)表示任其自然。

○足の向くままにあるく。

(2)表示保持原有状态不变。

○野菜は生のまま食べるほうが栄養があるんですよ。

○帽子をかぶったまま講演を聞いている。

15. ほう

表示进行比较的事物的某一方。

○あなたのほうが背が高い。

○医者にみてもらったほうが一番いい。

16. もと

表示“在……之下”

○先生の指導のもとで研究を続ける。

○科学技術委員会の主催のもとに工業の新製品の品評会が

行われた。

17. いっぱう

(1)表示两个方面同时存在或进行。“一方面……, 另一方面……”

○仕事をする一方、遊びもよくする。

(2)表示唯一的趋势。“不断……”、“一直……”

○公害は今後も増える一方です。

○戦争はますます拡大される一方です。

练习问题(一)

次の()に何を入れたらいいですか。A、B、C、Dの中から一つだけ選び、○を付けなさい。

1. テレビを見る人は多くなる()です。

A うえ B 一方 C うち D かわり

2. 国鉄は新幹線を建設する()、ローカル線の整備にも力を入れた。

A 一方 B こと C もの D はず

3. 映画を見るより音楽を聴く()がいい。

A うえ B 一方 C ほう D もと

4. くつの()で部屋に入ってきた。

A ほう B まま C もと D ところ

5. テレビをつけた()眠っている。

A もと B ほう C つもり D まま

6. 計画の()に行う。

A つもり B ところ C うち D とおり

7. 教えた()にやってください。
A とおり B ところ C わけ D うち
8. ストライキが続く()会社では仕事が出来ません。
A つもり B ところ C かぎり D ほう
9. 出来る()のことは手を打ってみましょう。
A かぎり B うえ C ほう D もの
10. 薬を飲む()に適当な運動で病気を直す人もいます。
A うち B かわり C もと D もの
11. ここは交通が不便な()に景色がよい。
A うち B うえ C もと D かわり
12. 体が大きいことは悪い()ではない。
A はず B つもり C かぎり D こと
13. 残念な()にはあんな弱いチームに負けてしまった。
A つもり B こと C かわり D もの
14. 図書館から借りた本は1週間以内に返す()。
A こと B とおり C もと D ほう
15. 大人の言うことは聴く()だ。
A もの B まま C とおり D ため
16. 普通の蛇は人の足音がすれば、たいてい逃げる()
だ。
A こと B もの C ため D まま
17. 一度世界各国を旅行したい()だ。
A こと B つもり C もの D ため
18. この川で君とよく遊んだ()だ。
A こと B ほう C とおり D もの
19. 私が知っているのは大体こんな()です。
A ほう B はず C ところ D もと
20. 私が着いたとき、彼が本を読んでいた()です。